

## 資源ファンド（株式と通貨）南アフリカランド・コース

## ファンドの概要

設定日 2009年7月31日  
償還日 2019年6月17日  
決算日 原則毎月17日  
分配時期 第2期以降、決算日毎

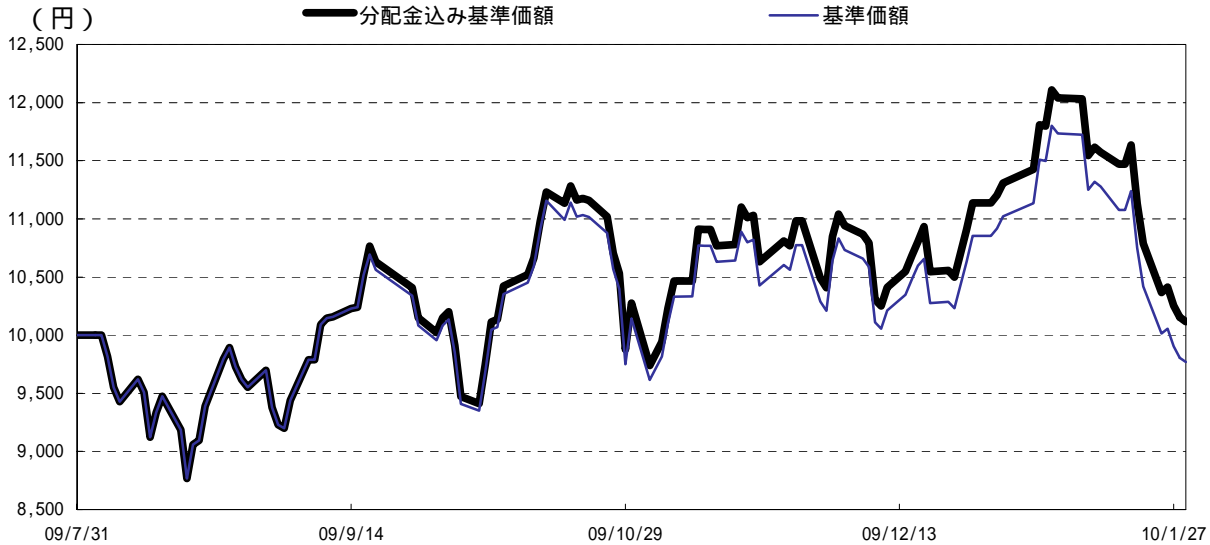
## ファンドの特色

1. 主として世界の資源株に投資を行ない、中長期的な値上がり益の獲得をめざします。
2. 資源国通貨での実質的な運用により、為替ヘッジプレミアム（金利差相当額）などの享受が期待できます。
3. 毎月、安定した収益分配を行なうことをめざします。

## 運用実績

当レポートでは基準価額を1万口当たりで表示しています。  
当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。  
当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。

## &lt; 基準価額の推移 &gt;



分配金込み基準価額の推移は、分配金（税引前）を再投資したものを表示しています。  
基準価額は、信託報酬（年率1.76%（税抜1.71%）程度）控除後の値です。信託報酬の詳細につきましては、後述の「手数料等の概要」をご覧ください。

基準価額 : 9,769円  
純資産総額 : 4.64億円

## &lt; 基準価額の騰落率 &gt;

1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
-10.56%	-1.55%	1.15%	-	-	1.15%

基準価額の騰落率は、分配金（税引前）を再投資し計算しています。

## &lt; 資産構成比率 &gt;

ナチュラル・リソース・ファンド 南アフリカランド・クラス	99.0%
マネー・オープン・マザーファンド	0.1%
現金・その他	0.9%

## &lt; 分配金実績(税引前) &gt;

設定来合計	直近12期計	09・8・17	09・9・17	09・10・19	09・11・17	09・12・17
380円	380円	0円	70円	70円	70円	70円
10・1・18						
100円						

## &lt; 基準価額騰落の要因分解(月次ベース) &gt;

前月末基準価額	11,021円
当月お支払いした分配金	-100円
要 株式要因	-656円
為替要因	-515円
為替ヘッジコスト/プレミアム要因	60円
因 その他	-41円
当月末基準価額	9,769円

上記の要因分解は、概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

当資料は、日興アセットマネジメントが当ファンドの投資信託説明書（交付目論見書）を補足することなどを目的とし、投資家の皆様当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

## ナチュラル・リソース・ファンド 南アフリカランド・クラスのポートフォリオの内容

日興アセットマネジメント アメリカズ・インクより提供された情報です。当外国投資信託の数値です。比率は組入株式評価総額に対するものです。

## &lt; 株式組入上位10銘柄 &gt; (銘柄数: 61銘柄)

	銘柄名	国名	業種	比率
1	Exxon Mobil Corp	アメリカ	エネルギー	6.94%
2	Chevron Corp	アメリカ	エネルギー	5.44%
3	Petroleo Brasileiro SA	ブラジル	エネルギー	4.44%
4	Occidental Petroleum Corp	アメリカ	エネルギー	4.24%
5	BP PLC	イギリス	エネルギー	3.38%
6	Royal Dutch Shell PLC	イギリス	エネルギー	3.04%
7	Noble Energy Inc	アメリカ	エネルギー	3.01%
8	Total SA	フランス	エネルギー	2.95%
9	ArcelorMittal	オランダ	素材	2.92%
10	Rio Tinto PLC	イギリス	素材	2.54%

## &lt; 業種比率 &gt;

業種	比率
エネルギー	63.0%
素材	32.4%
農業・食料	4.6%

## &lt; 株式組入上位5カ国 &gt;

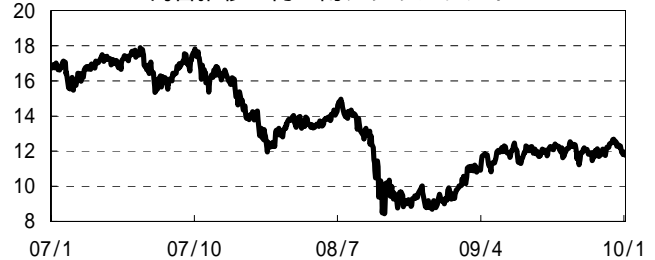
	国名	比率
1	アメリカ	58.2%
2	イギリス	9.8%
3	ブラジル	6.8%
4	カナダ	6.3%
5	中国	5.2%

## ご 参 考

## &lt; 利回り &gt;

株式配当利回り(A)	1.82%
為替ヘッジプレミアム/コスト(B)	6.72%
米ドル短期金利	(0.23%)
南アフリカランド短期金利	(6.95%)
(A)+(B)	8.54%

## &lt; 為替推移 円/南アフリカランド &gt;



三菱東京UFJ銀行発表の対顧客電信売買相場の仲値(TTM)です。

## 運用コメント

## 当月の市場動向

2010年は投機的な動きから上昇して始まりましたが、投資家の目が、政府による一連の景気刺激策の効果から実需のファンダメンタルズへと焦点を移したために、中旬には下落傾向となり、結果として1月は殆どの商品価格が大幅安となりました。米ドルが概ね上昇し、代替資産としての原材料への投資需要に対して更に歯止めをかけました。米国ではGDPなどで強い数字が出たものの、日本や欧州で回復鈍化の兆候が見られたため、打ち消されました。1月は多くの農産物品目において、投機筋からの売り注文が実需買いを圧倒したため、綿、とうもろこし、小麦、および大豆の価格が下落しました。一方で砂糖、オレンジジュースの価格は上昇しました。また、銅などのベースメタルの価格も、供給増加懸念に米ドル高、さらに2010年の金融政策は引き締め色が強くなるのではないか、との懸念から、全般的に下落しました。貴金属においては、投資家は金資産の換金売りを進め、金相場は米ドルと反対の動きとなり、2ヵ月連続の下落となりました。原油価格は神経質な動きとなりましたが、米ドル高、弱い米国の需要、さらに中国の成長に対する懸念などの悪影響を受け、値下がりしました。天然ガス価格は原油と同様に、ここ数ヵ月間の高値に達した後、米ドル高などを受けて、1月末には数週間ぶりの安値にまで下落しました。

南アフリカランドは、中国の金融引き締め観測や、米政府の金融規制案発表などを受け、投資家のリスク許容度が低下するなか、商品価格の下落や世界的な株安を背景に、高金利通貨・資源国通貨が売られたため、対円で下落しました。

## 運用概況

ファンドは、株式と為替の両方が要因となり、値下がりしました。当月は、石炭関連の組入れを増やしましたが、これは中国の厳寒と鉄道の混乱による在庫の減少から石炭価格が上値を迫る可能性が高いと判断したからです。また、石油掘削・生産会社も、メキシコ湾で発見した油ガス田の評価が高いこともあり、組入れを増やしました。その他、最近の株価の上昇を利合いの機会と捉え、複数の銘柄を一部売却しました。

## 今後の運用方針

ファンドは、期待される長期的な景気回復に向けた投資姿勢を維持する方針です。ここところの米ドル高と中国の景気減速懸念により、商品価格も短期的に乱高下しましたが、ファンドは、商品価格の長期的な上昇から利益を得るという姿勢を崩しません。原油価格は更に下落する可能性もありますが、中期的には一定範囲の動きになると思われます。石油掘削・生産会社は、足下のような環境にあっても好業績を維持しているため、投資比率を高め維持することを検討します。天然ガスは、今年は供給が増える可能性があり、価格もその影響を受けられるため、しばらくの間、天然ガス会社に対する投資比率は低めに抑えることを検討します。金価格は更に下落する可能性もありますが、この傾向も一過性のもと思われるため、金価格の上昇から利益を享受できる鉱山会社を引き続き強気に見ています。また、銅価格も上昇する態勢が整ってきているように思われるため、銅生産会社も保有を続けることを検討します。

**投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。**

当資料は、日興アセットマネジメントが当ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)を補足することなどを目的とし、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めいただくために作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

## お申込み

商品分類	追加型投信 / 内外 / 株式
お申込単位	お申込単位につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。
お申込価額	お申込受付日の翌営業日の基準価額
お申込不可日	取得申込日がニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行休業日に当たる場合は、取得のお申込みの受付（スイッチングを含みます。）は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
信託期間	2019年6月17日まで（2009年7月31日設定）
決算日	毎月17日（休業日の場合は翌営業日）
収益分配	毎決算時に、分配金額は、委託会社が決定するものとし、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。なお、分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わないことがあります。
ご換金価額	換金請求受付日の翌営業日の基準価額
ご換金不可日	換金請求日がニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行休業日に当たる場合は、換金請求の受付（スイッチングを含みます。）は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
ご換金代金のお支払い	原則として、換金請求受付日から起算して7営業日目からお支払いします。
課税関係	原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。課税上は、株式投資信託として取り扱われます。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

## 手数料等の概要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

<お申込時、ご換金時に直接ご負担いただく費用>

お申込手数料：お申込手数料率は、3.675%（税抜3.5%）を上限として販売会社が定める率とします。

分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、お申込手数料はかかりません。

換金手数料：ありません。

信託財産留保額：ありません。

スイッチング手数料：上記お申込手数料率を上限として販売会社が定める率とします。

販売会社によっては、スイッチングが行なえない場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

<信託財産で間接的にご負担いただく（ファンドから支払われる）費用>

信託報酬：純資産総額に対して年率1.76%（税抜1.71%）程度を乗じて得た額が実質的な信託報酬となります。

信託報酬の内訳は、当ファンドの信託報酬率が年率1.05%（税抜1%）、投資対象とする投資信託証券の組入れに係る信託報酬率が年率0.71%程度となります。受益者が実質的に負担する信託報酬率（年率）は、投資対象とする投資信託証券の組比率や運用内容の変更などにより変動します。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

その他費用：組入有価証券の売買委託手数料、監査費用、借入金の利息、立替金の利息 など

その他費用については、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことができません。

当ファンドの手数料などの合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

## 委託会社、その他関係法人

委託会社 日興アセットマネジメント株式会社

受託会社 日興シティ信託銀行株式会社

販売会社 販売会社については下記にお問い合わせください。

日興アセットマネジメント株式会社

〔ホームページ〕<http://www.nikkoam.com/>

〔コールセンター〕0120-25-1404（午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。）

## お申込みに際しての留意事項

## リスク情報

- 当ファンドは、主に投資信託証券に投資を行ない、投資対象とする投資信託証券は、主に株式（預託証券を含みます。以下同じ。）など値動きのある証券（外貨建証券は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。特に投資する新興国の株式は、先進国の株式に比べて価格変動が大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。したがって、元金を割り込むことがあります。
- 投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

## 【価格変動リスク】

- 一般に株式の価格は、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動します。ファンドにおいては、株式の価格変動または流動性の予想外の変動があった場合、重大な損失が生じるリスクがあります。
- 一般に公社債は、金利変動により価格が変動するリスクがあります。一般に金利が上昇した場合には価格は下落し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。ただし、その価格変動は、残存期間・発行条件などによりばらつきがあります。

## 【流動性リスク】

- 市場規模や取引量が少ない場合、組入銘柄を売却する際に市場実勢から期待される価格で売却できず、不測の損失を被るリスクがあります。
- 一般に新興国の株式は、先進国の株式と比較して、市場規模や取引量が少ないため、相対的に流動性リスクが高いと考えられます。

**【信用リスク】**

- ・一般に投資した企業の経営などに直接・間接を問わず重大な危機が生じた場合には、ファンドにも重大な損失が生じるリスクがあります。
- ・一般に公社債および短期金融資産にデフォルト（債務不履行）が生じた場合またはそれが予想される場合には、公社債および短期金融資産の価格は下落（価格がゼロになることもあります。）し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。

**【為替変動リスク】**

- ブラジルリアル・コース**
  - ・投資対象とする外国投資信託の組入資産については、原則として米ドル売り、ブラジルリアル買いの為替ヘッジを行なうため、ブラジルリアルの対円での為替変動の影響を受けます。一般に外国為替相場がブラジルリアルに対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。なお、為替ヘッジを完全に行なうことができるとは限らないため、場合によってはブラジルリアルと米ドルの2通貨間の金利差を十分に享受することができない可能性や、米ドルの対円での為替変動の影響を受ける可能性があります。また、ブラジルリアルの金利が米ドル金利より低い場合、米ドルとブラジルリアルの金利差相当分のヘッジコストが発生します。
- 南アフリカランド・コース**
  - ・投資対象とする外国投資信託の組入資産であるADRの値動きは、当該企業の株式の価格変動に加えて、当該株式の発行国通貨の米ドルに対する為替変動の影響を受けます。
- オーストラリアドル・コース**
  - ・投資対象とする外国投資信託の組入資産については、原則として米ドル売り、オーストラリアドル買いの為替ヘッジを行なうため、オーストラリアドルの対円での為替変動の影響を受けます。一般に外国為替相場がオーストラリアドルに対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。なお、為替ヘッジを完全に行なうことができるとは限らないため、場合によってはオーストラリアドルと米ドルの2通貨間の金利差を十分に享受することができない可能性や、米ドルの対円での為替変動の影響を受ける可能性があります。また、オーストラリアドルの金利が米ドル金利より低い場合、米ドルとオーストラリアドルの金利差相当分のヘッジコストが発生します。
- ・投資対象とする外国投資信託の組入資産であるADRの値動きは、当該企業の株式の価格変動に加えて、当該株式の発行国通貨の米ドルに対する為替変動の影響を受けます。

**【カントリー・リスク】**

- ・投資対象国である新興国における非常事態など（金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争など）を含む市況動向や資金動向などによっては、ファンドにおいて重大な損失が生じるリスクがあり、投資方針に従った運用ができない場合があります。
- ・情報の開示などの基準が先進国とは異なることから、投資判断に際して正確な情報を十分に確保できない場合があります。
- ・ファンドの投資対象株式が上場または取引されている諸国の税制が先進国と異なる場合があります。また、それらの諸国における税制が一方的に変更されたり、新たな税制が適用されたりすることもあります。以上のような要因は、ファンドの信託財産の価値に影響を与える可能性があります。  
ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

## その他の留意事項

- 当資料は、日興アセットマネジメントが「資源ファンド（株式と通貨）ブラジルリアル・コース/南アフリカランド・コース/オーストラリアドル・コース」の投資信託説明書（交付目論見書）を補足することなどを目的とし、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した販売用資料です。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、販売会社より、投資信託説明書（交付目論見書）などをあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ず詳細をご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

設定・運用は 日興アセットマネジメント株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第368号  
 加入協会：（社）投資信託協会  
 （社）日本証券投資顧問業協会

## お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会		
		日本証券業協会	(社)日本証券投資顧問業協会	(社)金融先物取引業協会
S M B C フレンド証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第40号		
株式会社 S B I 証券	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第44号		
中央証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第114号		
ひろぎんウツミ屋証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長（金商）第20号		
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第195号		